

大井町地域公共交通計画

策定の進め方

〔目 次〕

1. 大井町地域公共交通計画の概要	1
1-1 策定の目的	1
1-2 策定に向けたフロー	1
2. 策定の流れ	2
2-1 町民等の意向把握の実施	2
2-2 地域内公共交通に関する現況整理	6
2-3 大井町地域公共交通計画（案）の策定	9
3. 大井町地域公共交通活性化協議会の開催予定	12
4. 策定スケジュール	13

1. 大井町地域公共交通計画の概要

1-1 策定の目的

大井町において人口減少や高齢化が進む中、小・中学校の通学手段の確保や高齢者や交通手段を持たない住民に対し、住民ニーズに応じた利便性の向上、公共交通を取り巻く環境や実態に応じた取組みについて、具体的実施する事業やスケジュールを明確にし、持続可能な公共交通網の構築をめざすため「大井町地域公共交通計画」を策定することを目的とする。

1-2 策定に向けたフロー

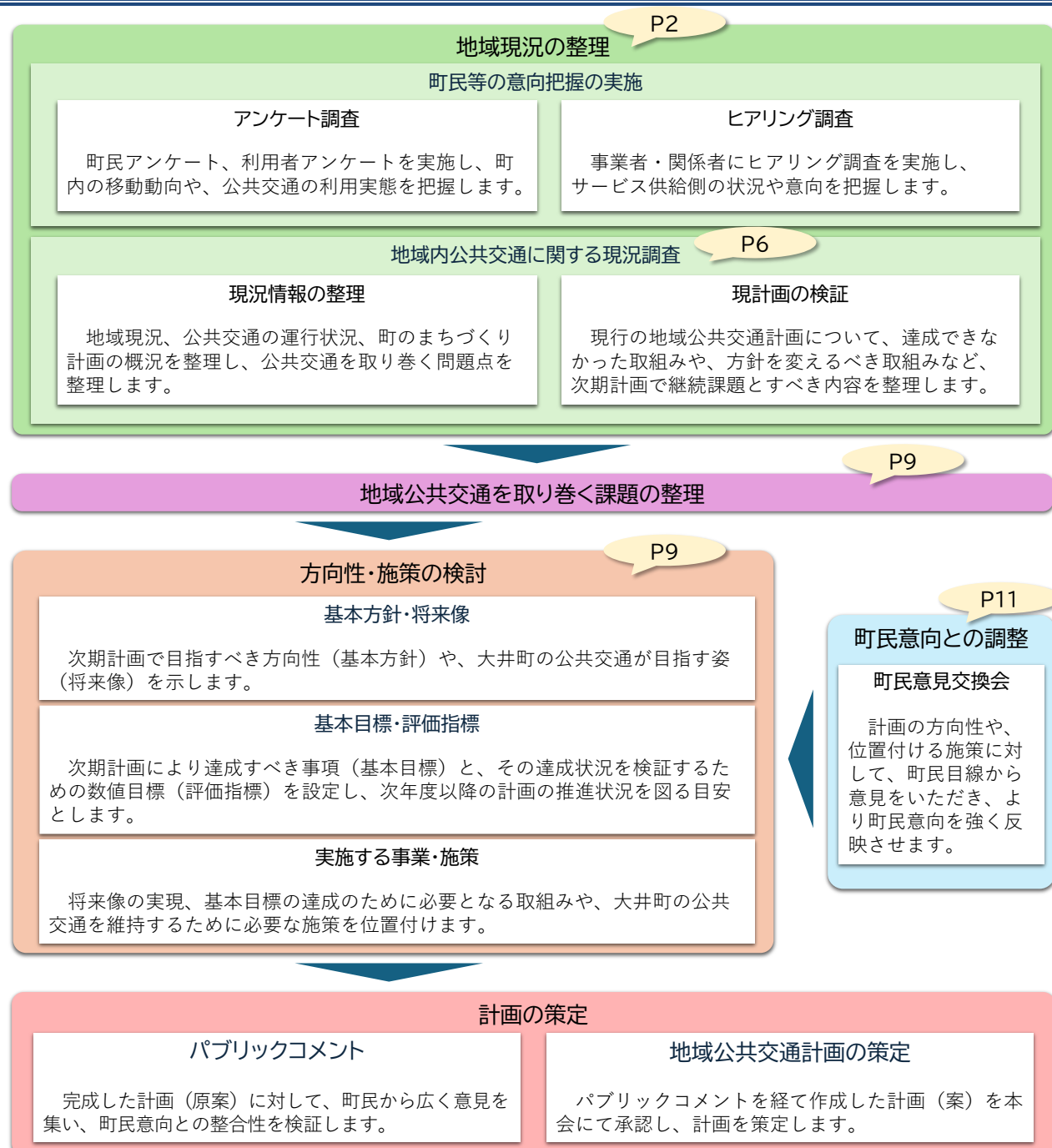


図1 地区別カルティメージ

2. 策定の流れ

2-1 町民等の意向把握の実施

2-1-1 町民アンケート

アンケート調査を実施し、結果を地区別に分析、現行の路線網及び運行ダイヤを照らし合わせて、ニーズとのズレや問題点を整理し、公共交通の再編に向けた改善策の検討に活用する。併せて、公共交通に対する意識を把握し、今後、求める公共交通などの意向把握を行うことを検討する。

表 1 町民アンケート概要（案）

調査概要		
調査対象	15 歳以上の町民 2,000 世帯（住民基本台帳）。 うち、相和地区については全世帯調査（500 世帯程）、他の地区は無作為抽出で 1,500 世帯を予定。	
調査方法	・ 郵送配布・郵送回収を基本として実施。※回収率は 35%程度を想定。 ・ QR コードや URL を設定し、Web 上からも回答できるようにする。	
調査内容	【調査項目】	【調査により明らかにすること】
	・ 日常の外出状況	・ 移動実態やニーズと現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせ、移動状況やニーズとのズレや問題点を把握し、改善策を検討。
	・ 公共交通の利用状況	・ サービスレベルや料金などの不公平感がないかを確認し、見直しを検討。 ・ 公共交通の新規利用、既存利用者の利用促進に向けた事業項目の重要度や優先度を把握し、改善策を検討。 ・ どのようなケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、どのような代替が可能なのかを検討。
	・ 公共交通に対する意識	・ 公共交通に対する意識を把握し、需要と供給をマッチングした地域公共交通を検討。 ・ 公共交通を再編する際の実現可能性な施策内容と優先順位を検討。
	・ 個人属性	・ 各設問に対するクロス集計として活用。

2-1-2 公共交通利用者アンケート

アンケート調査を実施し、各公共交通の利用状況とサービスレベルの問題点を把握することで、公共交通の再編に向けた改善策の検討に活用する。併せて、公共交通に対する意識を把握し、今後、求める公共交通などの意向把握を行うことを検討する。

表2 公共交通利用者アンケート概要（案）

調査概要		
調査対象	おおいゆめバス、路線バスの利用者	
調査方法	・車内に調査員が乗り込み、直接回収する（平日2日、土曜日1日想定）。 ・QRコードやURLを設定し、Web上からも回答できるようにする。	
調査内容	【調査項目】	【調査により明らかにすること】
	・利用特性	・目的別の利用状況とサービスレベルの問題点を把握し、効率化する区間と維持する区間など、公共交通の見直しに向けて検討。
	・他の公共交通の利用状況	・こういったケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、どのような代替が可能なのかを検討。
	・外出ニーズ	・現在の公共交通の運行状況に合わせて外出しており、本当は外出したいニーズの有無を把握し、再編検討。
	・公共交通に対する意識	・公共交通に対する意識を把握し、需要と供給をマッチングした地域公共交通を検討。

2-1-3 関係者ヒアリング

交通事業者については、公共交通の利用状況、事業者からみた現在の公共交通の問題点や要望、公共交通の再編、連携方策に関する考えなどについて協議を行う。

加えて、本町のまちづくりに係る庁内関係課や、関係団体へのヒアリングでは、分野別の現状や公共交通との関連事業、広域的な連携や民間サービスとの連携の実現可能性などについて把握・協議する。

その他、周辺自治体を対象にしたヒアリングでは、既存の広域交通についての現状や今後の運行に関する意向、公共交通による新たな本町とのアクセス整備などの実現可能性について把握・協議する。

調査の内容及び対象の候補については以下の通りである。また、必要に応じて、追加でのヒアリング調査の実施も検討する。

表3 交通事業者ヒアリング概要（案）

調査概要		
調査対象	・鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者 ※必要に応じて、外の事業者にも聞き取り。	
調査方法	・交通事業者を訪問し、直接聞き取り	
調査内容	【調査項目】	【調査により明らかにすること】
	◆現状の運行状況と問題点 ・運行ルート、運行人員、運行車両数 ・運行の問題点	・交通事業者が抱える現状の問題点から、サービスレベルの維持・向上に向けた事業者の体力を把握
	◆公共交通の再編 ・運行ルートや運行ダイヤの再編案 ・再編による効果、再編の実現性などを把握	・再編による効果、再編の実現性などを把握 ・一部、運行形態やルール変更等の可能性を把握
	◆新たな取組・サービスに対する意識 ・公共交通の新たな施策に対する考え	・新たな施策の実現性、担い手としての見込みなどを把握

表4 上大井駅の拠点整備事業に係るヒアリング概要（案）

調査概要	
調査対象	・政策経営課
調査内容	・現在の拠点整備事業の整備状況、ロードマップ、公共交通とまちづくりの連携方策 等

表5 関係団体ヒアリング概要（案）

調査概要	
調査対象	・ 社会福祉協議会（福祉分野） ・ 教育委員会（教育分野） ・ 足柄上商工会（商業分野）
調査内容	・ 移動サービスなどの運行状況、移動の困りごとに関する声、運行の問題点、現在の取組内容、取組内容を進めるにあたり公共交通計画や再編に求めること ・ 公共交通との連携方策、新たな取組の可能性

表6 周辺自治体ヒアリング概要（案）

調査概要	
調査対象	・ 小田原市、南足柄市、開成町、松田町、中井町、山北町 など
調査内容	・ 広域路線の考え方、新たな公共交通の検討状況 等

2-2 地域内公共交通に関する現況整理

2-2-1 地域現況の整理

1) 地域現況の整理

地域の現状整理にあたっては、地区ごとに異なる実情を踏まえて、GISを用いて、人口分布（年齢別人口及び将来人口）や、生活関連施設の分布などを重ね合わせて、エリアごとの課題を可視化する。また、地域ごとの傾向をより細かく捉えるため、地区別カルテとして整理する。

表7 収集する地域の現況整理データ

項目	収集する地域の現況整理データ	データ収集先・方法例
地形	標高	国土地理院データ等
人口特性	総人口、総世帯、地域別人口、人口分布状況、年齢別人口、将来人口	住民基本台帳、国勢調査、社人研推計結果等
土地利用	土地利用、用途地域	国土数値情報等
施設立地	施設分布状況（商業施設、公共施設、高校、医療・福祉施設等）	国土数値情報、大型小売店総覧等
移動特性	通勤・通学流動、時間帯別のエリア別の滞留状況	R2 国勢調査、RESAS（人流データ）等
道路交通	道路NW（計画含む）、免許保有状況	道路交通センサス、町統計データ、警察保有データ等

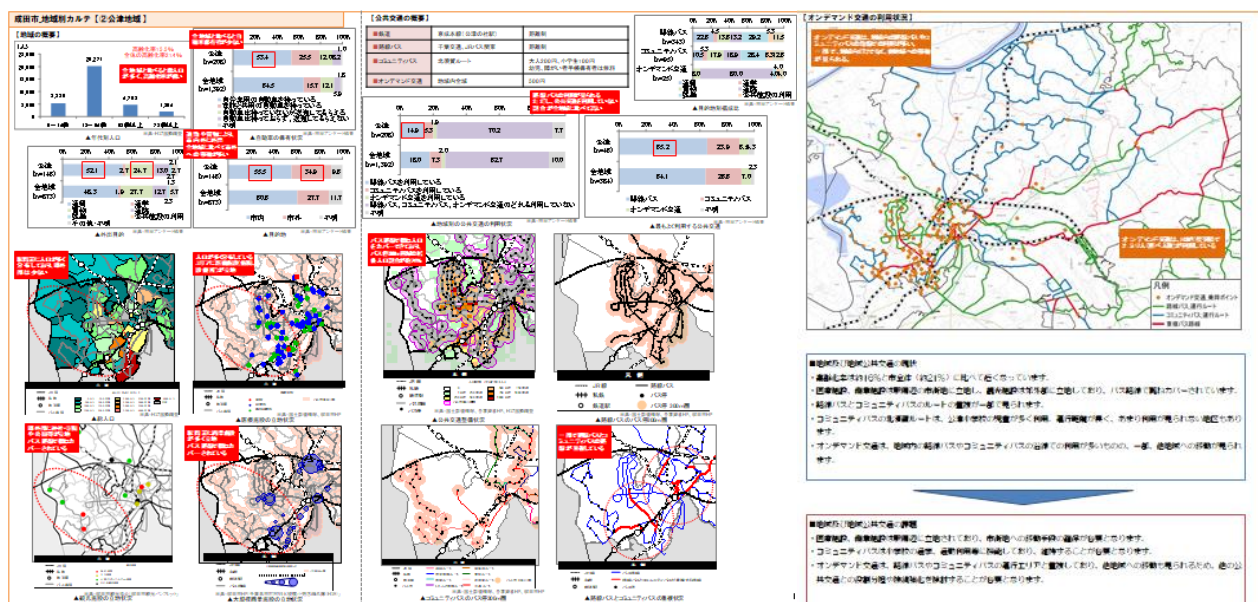


図2 地区別カルティメージ（千葉県成田市での事例）

2-2-2 公共交通の実態把握

地域公共交通は、バス路線網・バス停位置、カバー状況などネットワーク全体での評価と、路線・便ごとの利用状況（事業者提供データ等）や機能性・事業性・生産性等を踏まえて評価・分析を行う。また、路線ごとの傾向をより細かく捉えるため、路線別カルテとして整理する。

表8 収集する公共交通の現況整理データ

項目	収集する地域の現況整理データ	データ収集先・方法例
公共交通	・運行ルート ・公共交通ネットワークの変化 ・交通拠点・バス停等の設置箇所・変化 ・公共交通利用圏・交通不便エリア 等	国統計局や当社保有データの活用 町・交通事業者発行のダイヤ・ルート・時刻表 路線別乗降データ、収支状況

【路線の利用状況】

■OD単位

○平日 ※利用者数上位20のみ表示

乗車バス停	降車バス停	市域	利用者数	利用者数 (通学定期)	利用者数 (通勤定期)	利用者数 (高齢者)	利用者数 (その他)
末広町二丁目	水戸駅（北口）	水戸市内	583	433	17	0	133
水戸駅（北口）	末広町二丁目	水戸市内	303	229	20	0	54
水戸駅（北口）	栄町二丁目	水戸市内	220	139	12	0	69
水戸駅（北口）	茨城高校入口	水戸市内	172	133	13	0	26
水戸駅（北口）	上水戸入口	水戸市内	136	18	29	0	89
栄町二丁目	水戸駅（北口）	水戸市内	123	47	19	0	57
袴塚二丁目	水戸駅（北口）	水戸市内	112	2	36	0	74
水戸駅（北口）	袴塚二丁目	水戸市内	103	44	22	0	37
盲学校前	水戸駅（北口）	水戸市内	100	56	5	0	39
上水戸入口	水戸駅（北口）	水戸市内	96	5	13	0	78
泉町一丁目	水戸駅（北口）	水戸市内	92	9	11	0	72
水戸駅（北口）	文京町	水戸市内	75	4	24	0	47
保和苑入口	水戸駅（北口）	水戸市内	70	36	10	0	24
大工町（水戸）	水戸駅（北口）	水戸市内	67	13	10	0	44
茨城高校入口	水戸駅（北口）	水戸市内	54	31	7	0	16
泉町三丁目	水戸駅（北口）	水戸市内	53	30	5	0	18
袴塚二丁目	飯吉坂	水戸市内	48	4	30	0	14
南町三丁目	水戸駅（北口）	水戸市内	48	0	17	0	31
水戸駅（北口）	木の倉	水戸市→那珂市	43	6	4	0	33
水戸駅（北口）	那珂西部工業団地北②	水戸市→那珂市	42	0	21	0	21

■平日休日別

○大宮営業所⇒中瓜連⇒水戸駅（平日）

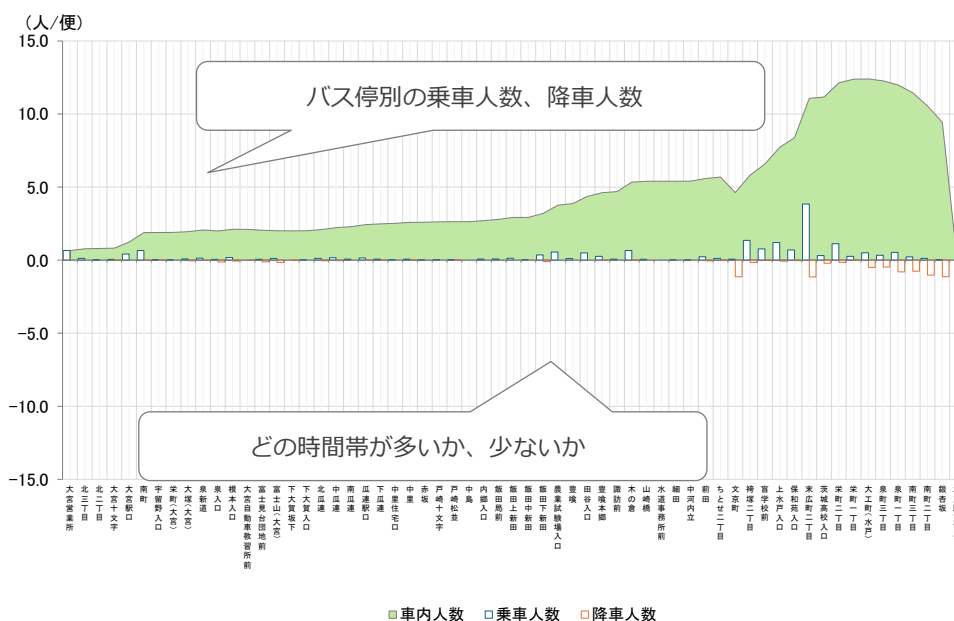


図3 路線別カルテ掲載データのイメージ（茨城県庁での事例）

2-2-3 上位・関連計画等と本計画の位置付けの整理

上位・関連計画等における地域・各分野のまちづくりの方向性を整理し、公共交通の位置づけや公共交通に求められる役割等を整理する。

整理結果に応じて、前述の庁内関係各課へのヒアリングでの追加調査も視野に入れ、具体的な役割や施策等について協議し、具体的な再編事業の検討や施策メニューや交通体系再編の検討につなげる。

表9 公共交通に求められる役割の整理の視点

視 点	内 容
各計画の実現に向けて公共交通に期待される役割	各計画の将来像や目標等の内容に着目し、直接的に公共交通に関する記述はないものの、将来像等の実現を考えていく上で公共交通として支援できる・支援すべき事項を検討し、公共交通に期待される役割として整理する。
各計画で位置づけられた公共交通に関連する施策	各計画で示す施策体系等の中で、公共交通に直接的に言及している箇所に着目、当該箇所に記載されている公共交通に関連する事項を整理する。
交通サイドからの検証と必要施策	拠点について交通サイドからみた必要箇所の整理及び拠点への誘導を促進するための施策の検討を行う。また、拠点間をつなぐ基幹的な公共交通路線について、将来的に維持していける路線なのかを検討する。

2-2-4 現計画の評価検証

現計画の評価検証にあたっては、計画に位置づけている施策や事業ごとに、達成状況を検証し、次期計画への反映の是非を検証する。併せて、現況整理結果やヒアリング結果、その他庁内提供資料から評価指標の現況値を整理し、その達成状況を検証する。

2-3 大井町地域公共交通計画（案）の策定

2-3-1 地域公共交通を取り巻く課題整理

2-1～2-2により整理した地域の現状・問題点等を踏まえ、地域公共交通を取り巻く課題を整理する。

・各種データ分析、各種調査を踏まえて、「潜在需要」「顕在需要」「供給」のマッチングを図り、問題となっている区間やエリアの把握を行います。（需給ギャップの可視化）

<潜在需要の整理イメージ>

- ・ある町民が、ある時間帯にどここの地区のエリアや拠点に移動しているのか、移動実態を整理します。
- ・地区単位で、マクロ的な視点から見た、目的別・交通手段別の移動実態を把握します。

<潜在需要と顕在需要と供給のマッチングイメージの一例>

- ・潜在需要（人口分布や滞留状況）と顕在需要（利用者）をマッチング及び可視化して、路線の問題区間を抽出します。
- ・供給（運行本数）と顕在需要（利用者）、潜在需要（人口分布や滞留状況）をマッチング及び可視化して、路線の問題区間（供給不足もしくは供給過剰）を抽出しつつ、新たに需要が見込めるエリアの抽出をします。

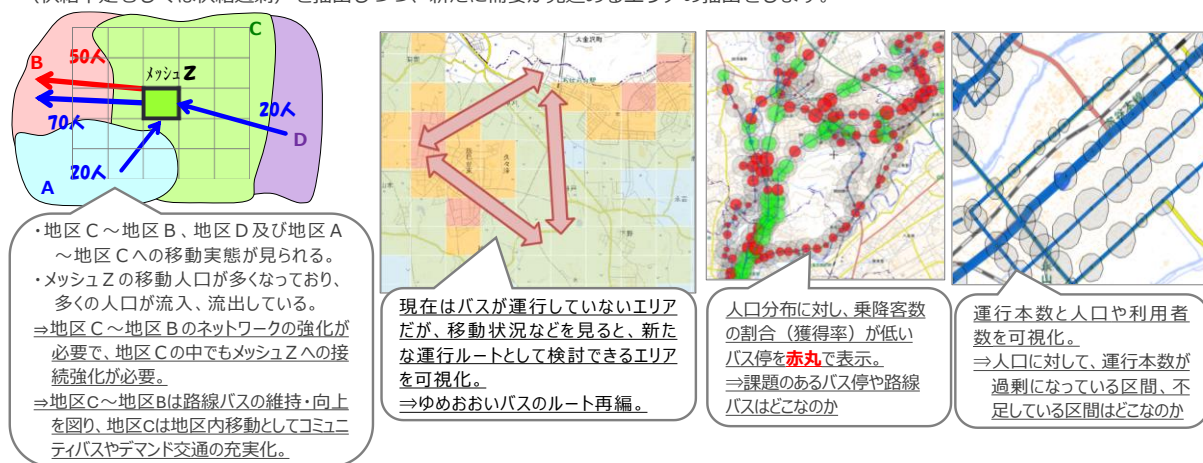


図4 課題整理のポイント

2-3-2 目指す将来像、基本方針、基本目標等の設定

整理した課題を踏まえ、課題解決を図るため基本方針を検討し、その方針に基づく目標及び数値目標を上位・関連計画との整合を図りながら設定する。併せて、地域公共交通のあり方、公共交通サービス提供の方針、公共交通とまちづくりとの連携方針、公共交通の運営・運行体制の方針等を定める。

2-3-3 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等の検討

位置付ける事業の検討にあたっては、2-3-2 で設定した基本方針及び基本目標を達成する上で必要となる、地域公共交通の再編事業や利用促進事業等の再編事業を検討する。併せて、利用促進事業等の事業内容、実施主体、事業スケジュールなども踏まえて検討する。

・実施方針、実施事業の検討にあたっては、基本方針及び基本目標と一体的に検討し、前段部分で整理した現状・課題を踏まえたものとなるよう、また、上位・関連計画で位置付けられたまちづくり方針等との整合性が図られるように留意します。

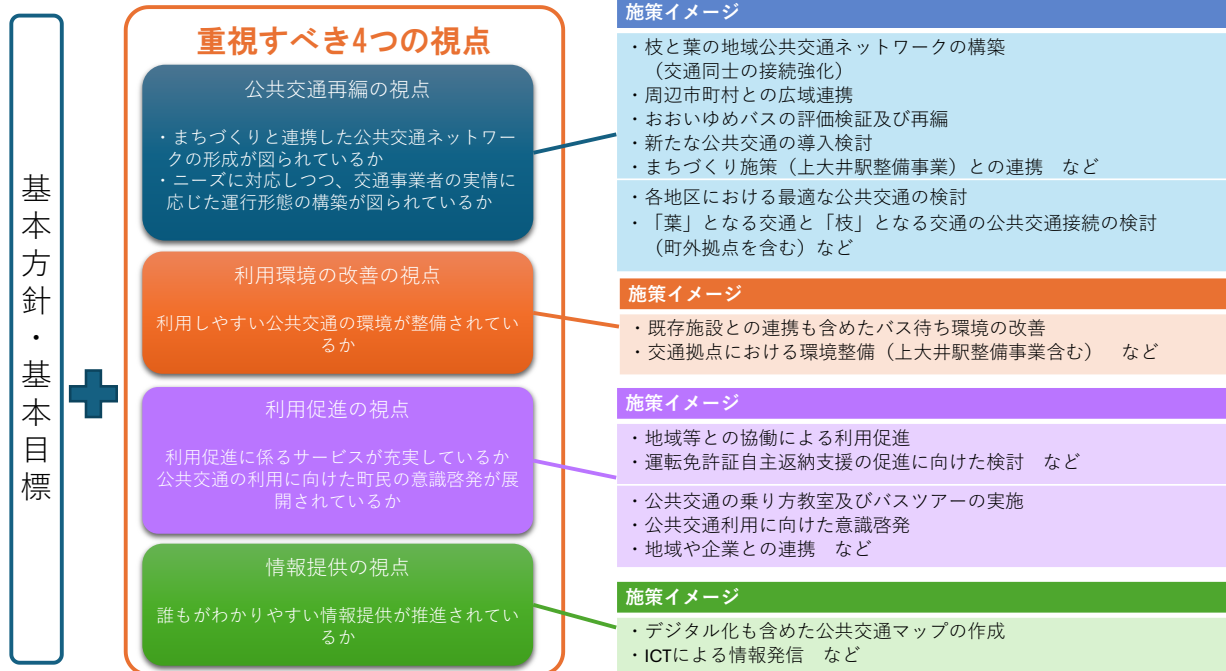


図5 方針・施策検討の方向性イメージ

2-3-4 評価指標や進捗管理方法等の設定

計画の基本目標及び位置付ける事業の進捗管理として、計画の推進を裏付ける定量的なデータを評価指標と定め、計画策定後の評価検証時に活用するものとして位置付ける。

- ・目標設定について、どのような施策を推進したことで効果が顕在化し、それが指標等に反映されたのか、そのつながりを明確化することが必要であると考えます。
- ・明確化することで、施策等の改善策を検討する材料にもなると考えます。そのため、アウトプット指標とアウトカム指標の考え方に沿って、目標を設定します。

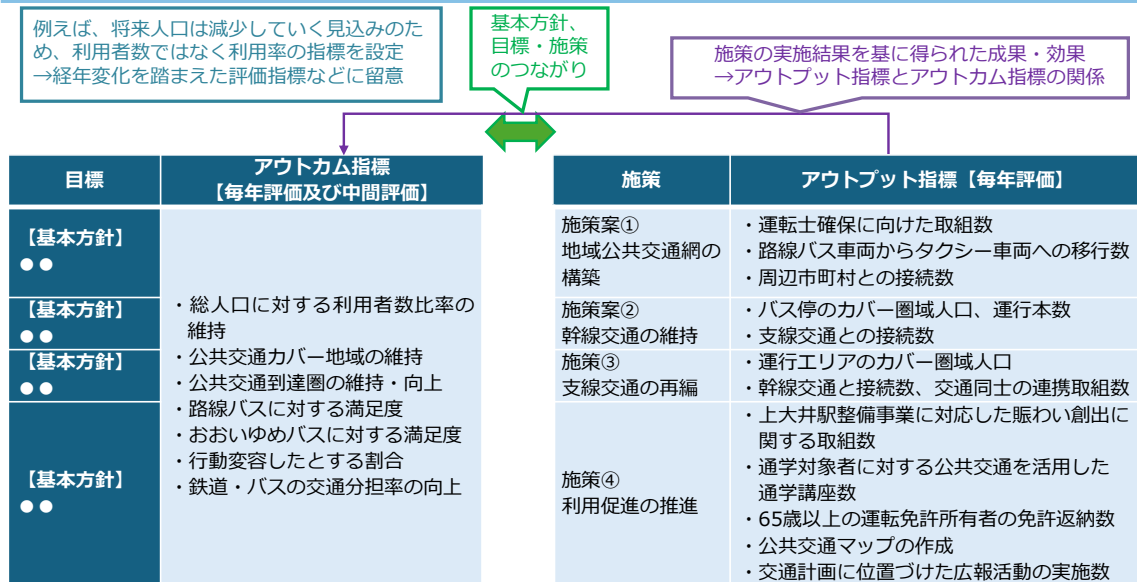


図6 評価指標・進捗管理の設定イメージ

2-3-5 町民意見交換会

意見交換会では、地域公共交通計画の施策事業、公共交通システムの運行計画の再編事業のブラッシュアップのために意見を把握する。

表10 町民意見交換会概要（案）

調査概要	
調査対象	・近隣地域に居住する町民 ※町内3地区で1回ずつの開催を想定
調査内容	◆地域公共交通計画及び公共交通システムの運行計画の素案について ・地域公共交通の課題、計画の基本方針・目標・施策事業（案）の説明 ・公共交通システム運行計画の再編事業の概要（案）の説明 ◆意見交換 ・施策事業（案）及び再編事業（案）で重点的に進めてほしいもの ・施策事業（案）及び再編事業（案）の改善アイデア ・その他、取り組むべき施策、事業について

2-3-6 大井町地域公共交通計画のとりまとめ

4-1-1～4-1-5の内容を踏まえて、計画（原案）を作成するとともに、パブリックコメントの結果を踏まえて、計画書（案）をとりまとめる。

3. 大井町地域公共交通活性化協議会の開催予定

大井町地域公共交通活性化協議会の開催について、計画策定に係る協議会は、以下の内容を想定している。

表 1 1 地域公共交通会議の開催予定

回	実施時期	内容（案）
第 28 回会議	令和 8 年 6 月 19 日(金)	・ 地域公共交通計画の策定スケジュール
第 29 回会議	令和 8 年 10 月	・ 地域及び公共交通の現状整理 ・ アンケート調査・ヒアリングの結果報告 ・ 地域公共交通を取り巻く課題整理 ・ 地域公共交通計画（骨子案）の検討 － 計画の基本方針と目標について － 計画に位置付ける施策イメージについて
第 30 回会議	令和 9 年 1 月	・ 意見交換会の内容報告 ・ 地域公共交通計画（原案）の検討 － 意見交換会結果等の反映について － 計画に位置付ける施策について
第 31 回会議	令和 9 年 3 月	・ 地域公共交通計画（案）の検討

4. 策定スケジュール

大井町地域公共交通計画の策定スケジュールは下表のとおり。

表 1 2 業務スケジュール

業務項目	令和8年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 計画準備										
(2) 町民等の意向把握の実施										
ア 町民アンケート調査										
イ 公共交通利用者アンケート調査										
ウ 関係者ヒアリング										
エ 町民意見交換会の実施										
(3) 地域内公共交通に関する現況調査										
ア 地域現況の整理										
イ 地域公共交通の現状整理・分析										
ウ 上位・関連計画等と本計画の位置づけの整理										
エ 現計画の評価検証										
(4) 大井町地域公共交通計画（案）の策定										
ア 地域公共交通を取り巻く課題整理										
イ 目指す将来像、基本方針、基本目標等の設定										
ウ 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等の検討										
エ 評価指標や進行管理方法等の設定										
オ 大井町地域公共交通計画のとりまとめ										
カ 公共交通システムの運行計画案の作成										
(5) 公共交通マップの作成										
(6) 大井町地域公共交通会議の運営支援		◎			◎			◎		◎
(7) 打合せ協議	●			●			●			●
(8) 業務報告書作成										